

東京ミッドタウンで実戦的な大規模訓練を実施

東京消防庁

東京消防庁赤坂消防署は去る3月16日、港区赤坂の旧防衛庁跡地を再開発したグランドオープン前の東京ミッドタウンにおいて、消防職・団員、自衛消防組織等約1,000人が参加した大規模な救助救急演習を実施しました。不審物からの出火や有毒物質の放出により多数の傷病者が発生したとの想定で、近隣の六本木ヒルズ森タワーよりさらに高い248mのミッドタウンタワー屋上から、同庁ヘリによる負傷者の救出・救助訓練や消防隊による有毒物質の除去活動等の総合的な訓練を行いました。



東京ミッドタウンでの訓練の様子

火災防ぎょ訓練を実施

奈良市消防団

奈良市消防団富雄分団は去る5月27日、四天王寺大和別院駐車場において、新入団員の消防活動要領や消火戦術の教養訓練を兼ねた「火災防ぎょ訓練」を実施しました。訓練には追山重法分団長以下40人が参加し、近くに水源が無い地域での火災発生を想定して、遠方の水源より小型動力ポンプを中継しながら消火する訓練を行いました。終了後は、奈良市西消防署の木田雅久署長から訓練の講評があったほか、訓練をととして安心・安全な街づくりを推進する士気の高揚を図ることができました。



放水訓練を行う富雄分団員

消防通信 望楼 ぼうろう

国内初、フェリー型の消防艇を導入

廿日市市消防本部

廿日市市消防本部は去る4月19日、管内沿岸の海上災害での救難救助活動や宮島町内で発生する救急業務等に対応するため、車両積載可能なフェリー型の消防艇を導入しました。消防艇は、全長20.8m、幅5m、総トン数19t。放水量毎分1,500ℓの電動放水銃2基と救急患者室を備えているほか、消防艇では国内初となる3tまでの救急車等を甲板上に積載できる仕様になっています。これにより、島外への傷病者搬送が救急車による直接輸送となり、搬送時間の短縮と傷病者への負担が軽減されます。



船名は一般公募で「もみじ」と決定

鹿児島県総合防災訓練に参加

大隅肝属地区消防組合消防本部

去る5月18日、鹿児島県主催による総合防災訓練が鹿屋市串良と田崎を会場に実施されました。訓練は、強い地震の発生と大雨の影響で災害が発生する恐れがあるとの想定で、大隅肝属地区消防組合、鹿屋市消防団、鹿児島県警察本部等57機関から約1,300人が参加しました。串良会場では、大隅肝属地区消防組合東部消防署が串良川に転落した車両から避難者を救助し、第十管区海上保安本部のヘリコプターに緊急搬送を要請する水難救助連携訓練や孤立住民救出訓練等24種目の訓練を実施しました。



川に転落した車両から避難者を救助する救助隊員

消防通信／望楼では全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。